

出前講義のご案内

2026 年度



国際文化学部

音楽学部

健康生活学部

看護学部



活水女子大学
KWASSUI WOMEN'S UNIVERSITY

ご 案 内

活水女子大学では高大連携事業として、高校生の皆さんを主な対象に、出前講義をおこなっています。
キャリア教育や職業・進路研究、「総合的な探究の時間」その他授業の1コマとしてぜひご活用ください。

対 象 地 域

長崎県内（離島を含む）の高等学校

対 象

長崎市・諫早市・大村市*の小・中学校
*この他の地域についてはご相談ください。

実 施 費 用

講義・講師派遣にかかる費用は一切ございません。

受 付 期 間

～2027年2月26日（金）まで

*派遣講師の日程調整のため、ご希望実施日の1ヶ月前までにお申し込みください。

実 施 期 間

～2027年3月19日（金）まで

*講師の都合や行事等により、ご希望に添えない場合もございます。

申 込 方 法

下記のいずれかの方法にてお申し込みください。

● 申込書によるお申し込み

申込書に必要事項をご入力・ご記入のうえ、メール添付またはFAXにて、本学入試課宛にお送りください。

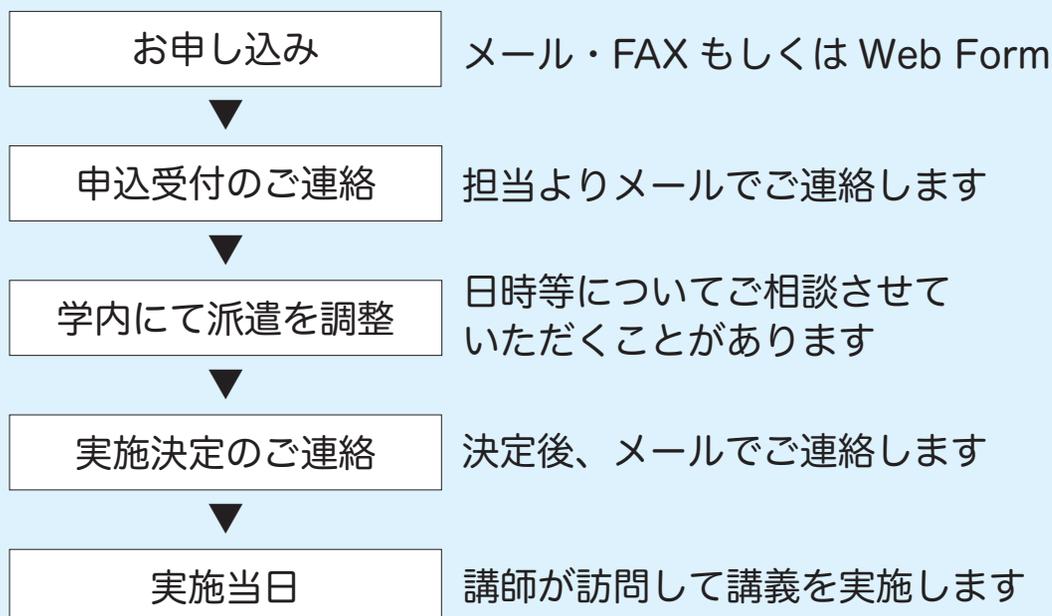
● Web Form によるお申し込み

右記QRコードまたは下記URLにアクセスいただき、必要事項をご入力の上、送信してください。

URL : <https://forms.office.com/r/i5LdCnxMSV>



実 施 ま だ の 流 れ



申 込 先

活水女子大学 入試課

お 問 い 合 わ せ

E-MAIL : nyushi@kwassui.ac.jp

TEL/FAX : 095-820-6015

No.	担当学科	テーマ名
1	学長室	身近な平和を考える
2	学長室	「グローバル」を目指す -- 国際社会で通用する人材とは？
3	国際文化学科	英語と日本語の共通点と相違点について考えよう！ -- 構造を中心に～
4	国際文化学科	日本語ってどんなことば？ -- 世界の言語と日本の言語に親しもう
5	国際文化学科	キャリアデザインってなに？ -- 自分らしく働くを実現させるために
6	国際文化学科	貧困の連鎖を断ち切る - バングラデシュのマイクロファイナンスの挑戦
7	食生活健康学科	①食に関する指導・食育：心身の健康 ②食に関する指導・食育：食品を選択する能力 ③食に関する指導・食育：食文化 ④生活習慣とからだの関係
8	食生活健康学科	①「食品のサイエンス」 ②「食の安全安心とは」 ③「食品のおいしさを測る」 ④「食中毒を防ぐために」
9	生活デザイン学科	地球・ひと・お財布にやさしい建築設計 -- 脱炭素社会や SDGs の達成に向けて
10	生活デザイン学科	住まいのデザインの地域性 -- 先人の知恵に学ぶ快適、安心な暮らし
11	生活デザイン学科	探そう！都市・建築の SDGs デザイン！
12	生活デザイン学科	建築家だけじゃない！建築分野のお仕事紹介！
13	生活デザイン学科	端切れや不要衣類を活用しよう -- リメイクで布小物作り
14	生活デザイン学科	ブランディングデザイン（商品企画）
15	生活デザイン学科	色彩と建築と風景と。
16	子ども学科	手指の器用さを向上させよう
17	子ども学科	福祉ってなに？ -- あなたのすぐそばにある、とても大切なもの
18	子ども学科	保育者ってどんな人？ -- 保育の魅力・奥深さをご紹介します！
19	子ども学科	中・高校生の心の健康
20	子ども学科	修復的対話サークルを体験しよう -- 民主主義という価値を実現するための方法
21	看護学科	『さわやかな自己表現』て何？ -- アサーティブ・コミュニケーションを体験！
22	看護学科	私のストレングスってなに？ -- 自分の強みを知って輝いた毎日を過ごそう！
23	看護学科	レジリエンスってなに？ -- 自分のレジリエンスを知り、育てよう！
24	看護学科	トラウマ インフォームド ケアについて知ろう！
25	看護学科	チームワークを学ぼう
26	看護学科	手をきれいに洗えていますか？ -- チェッカーを使った手洗いチェック
27	看護学科	高校生の未来デザイン -- ACP（人生会議）で、自分と大切な人の想いを伝えあう
28	看護学科	暮らしの中の応急処置・救急法
29	看護学科	高齢者の世界を体験しよう -- 加齢による変化から高齢者への優しさと尊厳を学ぶ
30	看護学科	世界の看護はどう違う？ -- アジアの国々から学ぶ国際協力のリアル
31	看護学科	性感染症について -- 正しい知識をもって自分の身体を守ろう！
32	看護学科	子どもの健康とヘルスリテラシ -- 成長期のカラダとココロを守るために

No. 1	身近な平和を考える			対象人数	講義時間
	※タイトルはご要望に合わせて決定します			3～200人	30～90分 (調整可能)
担当教員	学長・教授 広瀬 訓			対象者	関連する教科等
分野	国際社会と平和	実施形態	主に講義、対象によってはワークショップ	<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input type="checkbox"/> 小学3・4年生 <input type="checkbox"/> 小学1・2年生 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input checked="" type="checkbox"/> 地理・歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>
現在国際社会が直面している問題の中から、 ①戦争と平和 ②原爆／核兵器 ③貧困と開発 ④国連の役割 など具体的にご希望の分野を指定していただき、対象に合わせて行います。					
関連のあるSDGs目標					
使用機材	プロジェクター (HDMI)・スクリーン・ホワイトボードまたは黒板		配布資料	有	電子ファイル または 紙
その他	※配布資料は内容と希望に応じて準備しますが、必須ではありません。 国連機関、外務省での勤務経験を踏まえての具体的な話や、絵本、コミック、アニメ等を用いての話等、対象となる年齢層、希望するトピック、テーマに応じて、柔軟な対応が可能です。				

No. 2	「グローバル」を目指す			対象人数	講義時間
	国際社会で通用する人材とは？			3～200人	30～90分 (調整可能)
担当教員	学長・教授 広瀬 訓			対象者	関連する教科等
分野	国際理解・国際交流	実施形態	主に講義、対象によってはワークショップ	<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input type="checkbox"/> 小学3・4年生 <input type="checkbox"/> 小学1・2年生 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input checked="" type="checkbox"/> 地理・歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>
最近注目を浴びている「グローバル人材」ですが、本当に国際社会で通用するような、「国際人」、「グローバル人材」とは、どのような人を指すのでしょうか？もちろん英語が話せるようになるだけで、そのような人になれるわけではありません。あるいは、「留学すれば国際人になれる」わけでもありません。 そこで、将来国際的な舞台上で活躍したいと考えている人に、今日から「グローバルに生きる」ために必要なスキルを身に着ける方法を一緒に考えてみたいと思います。					
関連のあるSDGs目標					
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン、ホワイトボードまたは黒板		配布資料	有	電子ファイル または 紙
その他	※配布資料は内容と希望に応じて準備しますが、必須ではありません。 国連機関、外務省での勤務経験を踏まえての具体的な話や、絵本、コミック、アニメ等を用いての話等、対象となる年齢層、希望するトピック、テーマに応じて、柔軟な対応が可能です。				

No. 3	英語と日本語の 共通点と相違点について考えよう！ —構造を中心に										対象人数	講義時間					
											10～30人	40～90分 (調整可能)					
担当教員	国際文化学部・国際文化学科 教授 狩野 暁洋										対象者	関連する教科等					
分野	言語学	実施形態	講義								高校生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input checked="" type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>英語と日本語は、一見全く異なる言語のように感じられます。しかし、どちらも人間の言語であるという共通点を持つことは紛れもない事実です。</p> <p>この共通基盤の上に、それぞれの言語がどのような特徴をもっているかについて、易しく解説していきます。</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	ホワイトボードまたは黒板								配布資料	無							
その他	ノートのご準備をお願いします。																

No. 4	日本語ってどんなことば？ 世界の言語と日本の言語に親しもう										対象人数	講義時間					
											2～50人	40～90分 (調整可能)					
担当教員	国際文化学部・国際文化学科 准教授 吉村 大樹										対象者	関連する教科等					
分野	言語学	実施形態	講義								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学3・4年生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学1・2年生	<input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input checked="" type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>日本語を「世界の多様な言語の中の一つ」としてとらえ、皆さんが普段使っている日本語を新しい視点から見つめ、言語の不思議やおもしろさを体験してみましょう。</p> <p>まず、日本語の語順・助詞・音声といった特徴を、英語や世界のさまざまな言語と比較しながら紹介し、日本語がどのような仕組みで成り立っているのかを一緒に考えていきます。</p> <p>また、全国の方言の多様性にも触れ、言語を通して文化を理解する視点を広げていきます。</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI) ・スクリーン								配布資料	有		電子ファイル または 紙					
その他	受講対象者の学年等に応じて適宜内容を調整しますので、お気軽にお問い合わせください。																

No. 5	キャリアデザインってなに？ 自分らしく働くを実現させるために										対象人数	講義時間					
											20～300人	45～90分 (調整可能)					
担当教員	国際文化学部・国際文化学科 准教授 杉本 あゆみ										対象者	関連する教科等					
分野	キャリア教育	実施形態	講義・体験								高校生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>キャリアデザインとは、将来の目標や理想の自分をイメージし、働き方や生き方を主体的に設計・実施していくことです。では、キャリアデザインの設計には、どのような要素が必要なのでしょう。</p> <p>この講義では、「Can (できること)」「Will (したいこと)」「Must (やらなければならないこと)」を明らかにする過程を体験的に学び、「自分の現状を知る」ためのワークやディスカッションに取り組んでもらいます。自分の人生を豊かにしていくために、どのように考え、行動すればいいかというヒントをつかんでいきましょう。</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2	3	4		6	7		9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン						配布資料	有	電子ファイル								
その他																	

No. 6	貧困の連鎖を断ち切る Bangladesh のマイクロファイナンスの挑戦										対象人数	講義時間					
											5人以上 (上限無し)	40～60分					
担当教員	国際文化学部・国際文化学科 教授 細海 真二										対象者	関連する教科等					
分野	社会学・国際関係学	実施形態	講義+演習								高校生 中学生 小学5・6年生 教員 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>もしあなたが1万円を持っていて、世界のどこかの人を助けるとしたら、どんな使い方をしますか？</p> <p>多くの人々が「貧困」という言葉を聞いたことがあると思いますが、貧困の原因は何でしょうか？ また、それをなくすにはどんな方法があるのでしょうか？</p> <p>この講義では、Bangladesh で生まれた「マイクロファイナンス (小口融資)」という仕組みに注目します。担保も資産もない人にお金を貸す。普通では考えられないことを、どのように実現したのか。その仕組みが人々の生活をどう変え、世界へ広がっていったのかを紹介します。あわせて、フェアトレードやフィランソピーなど、よりよい社会をつくる他の方法にも触れながら、「社会を変えるしくみ」とは何かを一緒に探ります。</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
	2	3	4		6	7		9		11	12	13	14	15	16		なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン、ホワイトボードまたは黒板						配布資料	有	電子ファイル								
その他	マイクロファイナンスとは何か。 ムハマド・ユヌスとグラミン銀行、小口融資・グループ保証、返済率の高さの理由、「信用は与えるもの」という発想。世界で起きているリアルな現実をお伝えします。																

No. 7	①食に関する指導・食育：心身の健康 ②食に関する指導・食育：食品を選択する能力 ③食に関する指導・食育：食文化 ④生活習慣とからだの関係										対象人数	講義時間					
											応相談	応相談					
担当教員	健康生活学部 食生活健康学科 准教授 松永 知恵										対象者	関連する教科等					
分野	栄養教育・栄養生理学・栄養学					実施形態	講義					<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> <input type="checkbox"/> 保健体育				
<p>①心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を学びます。</p> <p>②食べ物を選ぶときに必要な食物の品質及び安全性等について学びます。</p> <p>③各地域の産物、食文化（和食文化）や食に関わる歴史等について深く学びます。</p> <p>④食事・運動・睡眠といった生活習慣が、からだにどのような影響を与えるかについて学びます。中学生以降であれば生活習慣病についても学びます。</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン、ホワイトボードまたは黒板					配布資料	有		紙								
その他	<p>テーマは同じであっても対象者にあわせた内容（難易度など）にします。</p> <p>学童期・思春期（中学生、高校生）・成人期といったライフステージに必要な栄養学について講義します。</p> <p>基本は講義形式ですが、グループワークや演習などを取り入れることもあります。</p>																

No. 8	①「食品のサイエンス」 ②「食の安全安心とは」 ③「食品のおいしさを測る」 ④「食中毒を防ぐために」 など										対象人数	講義時間					
											応相談	応相談					
担当教員	健康生活学部・食生活健康学科 准教授 池田 光吉										対象者	関連する教科等					
分野	食品学・食品加工学・食品衛生学・水産化学					実施形態	対面（オンライン・オンデマンド可）					<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学3・4年生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学1・2年生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>				
<p>テーマ①：食品に含まれる成分（栄養成分や機能性成分など）の性質や特徴についてサイエンスの視点で学びます。</p> <p>テーマ②：食べ物は安全であることが大前提です。ヒトが食品を安全に食べるための方法（食品添加物、加工、貯蔵など）や制度（関連法規など）について学びます。</p> <p>テーマ③：ヒトの感覚器（目、鼻、舌など）を使って食品のおいしさを測ることができます。これを「官能評価」と呼びます。講義では、官能評価の方法を具体的に学びます。例えば商品開発において活用することができます。</p> <p>テーマ④：食中毒を防ぐためには食中毒の発生原因を知ることが重要です。食中毒の原因となる危害要因（微生物、カビ毒、化学物質等）について詳しく学びます。他にも、これまでに報告されている食中毒事例を教材として、どうすれば食中毒を防ぐことができたのか？について考えるワークも行います。</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2		4	5		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン、ホワイトボードまたは黒板					配布資料	無										
その他	<p>・配布資料は「無し」としてありますが配布資料「有り」の場合もございますので、その際はご連絡いたします。</p> <p>・講義時間は45分程度を想定しておりますが、45分以上も対応可能です。90分の講義を行った実績もございます。</p> <p>・受講人数は1～40名程度を想定しておりますが40名以上も対応可能です。100人以上に対して講義を行った実績もございます。</p>																

No. 9	地球・ひと・お財布に やさしい建築設計				対象人数	講義時間											
	脱炭素社会やSDGsの達成に向けて				5人以上 上限なし	40～70分 (調整可能)											
担当教員	健康生活学部・生活デザイン学科 講師 小畑 拓未				対象者	関連する教科等											
分野	建築環境	実施形態	講義			高校生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input checked="" type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 理科(物理) 工業系(建築)										
<p>建築設計では、様々な要求を同時に追求することが求められます。例えば、カッコイイ、美しいデザインが求められ、更には、地震に強い建築とすることも重要です。</p> <p>私は、建築の「環境」をテーマに研究しており、省エネで地球にやさしく(その結果、光熱水費が安くなりお財布にもやさしい)、さらに、快適な温熱・光・風環境を実現し、人にもやさしい建築とするにはどのような設計を行えば良いかを研究しています。最近、「脱炭素社会」、「カーボンニュートラル」といった言葉をよく聞きますが、こうした社会背景からも今後ますます重要になる研究分野です。</p> <p>この講義では、その研究成果の一部を紹介します。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3 3. 気候変動に 適応させる	4	5	6	7 7. 再生可能 エネルギー	8	9	10	11 11. 住み続け るまちづくり	12 12. つく る責任	13 13. 気候変動に 適応させる	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI・VGA どちらも可)、 スクリーン				配布資料	無											
その他	研究内容等は右記よりご確認ください。				小畑研究室ホームページ https://www.kobataketakumi.com												

No. 10	住まいのデザインの地域性				対象人数	講義時間											
	先人の知恵に学ぶ快適、安心な暮らし				5人以上 上限なし	40～70分 (調整可能)											
担当教員	健康生活学部・生活デザイン学科 講師 小畑 拓未				対象者	関連する教科等											
分野	建築・家庭科(住居分野)	実施形態				高校生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input checked="" type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 工業系(建築)										
<p>日本各地にその土地ならではの名物や郷土料理があるように、住宅や建築のデザインにも地域性があります。このようなデザインは、その土地の気候風土に応じた理にかなったデザインとなっています。</p> <p>この講義では日本各地、更には世界各国で見られる住まいのデザインの地域性について紹介し、先人の知恵から快適、安心な暮らしについて学んでいきます。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3 3. 気候変動に 適応させる	4	5	6	7 7. 再生可能 エネルギー	8	9	10	11 11. 住み続け るまちづくり	12	13 13. 気候変動に 適応させる	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI・VGA どちらも可)、 スクリーン				配布資料	無											
その他																	

No. 11	探そう！ 都市・建築のSDGsデザイン！		対象人数	講義時間
			5人以上 ・ 上限なし	40～70分 (調整可能)
担当教員	健康生活学部・生活デザイン学科 講師 小畑 拓末		対象者	関連する教科等
分野	建築デザイン・都市デザイン	実施形態	講義	高校生 <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input checked="" type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 理科(物理) 工業系(建築)
<p>普段何気なく歩いている街のなかには、SDGsの達成に貢献するデザインが多くあります。この講義ではまちなかにあふれるSDGsデザインを紹介し、設計者やデザイナーがどのような意図を持ってそのデザインにしたのかを理解する力を養います。普段の通学路が、発見と学びの連続になるかもしれません。</p> 				
関連のあるSDGs目標				
				
使用機材	プロジェクター (HDMI・VGA どちらも可)、スクリーン		配布資料	無
その他				

No. 12	建築家だけじゃない！ 建築分野のお仕事紹介！		対象人数	講義時間
			5人以上 ・ 上限なし	40～70分 (調整可能)
担当教員	健康生活学部・生活デザイン学科 講師 小畑 拓末		対象者	関連する教科等
分野	建築デザイン・都市デザイン	実施形態	講義	高校生 <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input checked="" type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 工業系(建築)
<p>建築の仕事と聞いて皆さんは何をイメージしますか？建築のデザインを担う建築家をイメージする人が多いと思いますが、実はそれだけではありません。建築物は、建築家以外にもあらゆる分野のスペシャリストが集結し、チームになって設計することで出来上がります。この講義では、建築分野に関わるあらゆる職業を紹介します。</p>				
関連のあるSDGs目標				
				
使用機材	プロジェクター (HDMI・VGA どちらも可)、スクリーン		配布資料	無
その他				

No. 13	端切れや不要衣類を活用しよう ～リメイクで布小物作り～										対象人数	講義時間					
											1クラス以下	90分以内					
担当教員	健康生活学部・生活デザイン学科 准教授 永田 邦江										対象者	関連する教科等					
分野	被服	実施形態	講義・実習								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
衣服の製造・廃棄が環境に影響を与えていることを説明したのち、ごみ減量化のために端切れや不要衣類を利用した布小物の製作を行います。 被服実習の際に出た布の切れ端や着なくなった衣服などを持ち寄り、コースターやブックカバー、袋物などを製作することにより、リメイクの楽しさを体感し、縫製技術の基礎を身につけることができます。																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン、ホワイトボードまたは黒板								配布資料	有	紙						
その他	何を製作するかは、実習時間や学校の設備 (ミシンを使用できるか否か) に合わせて決定します。																

No. 14	ブランディングデザイン (商品企画)										対象人数	講義時間					
											5～40人程 (応相談)	40～60分 (応相談)					
担当教員	健康生活学部・生活デザイン学科 教授 浜谷 信彦										対象者	関連する教科等					
分野	デザイン (商品企画)	実施形態	講義 (+ 演習含む)								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input checked="" type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 商品企画、商品開発、マーケティング、プロダクトデザイン					
この講義では以下のことを学びます。 デザインとは？ 商品企画・開発におけるブランディングデザイン ネーミング、ロゴ、パッケージ、プロダクト、CMなど イノベーションを生み出しやすいデザイン・アートの考え方、発想法について 講義+簡単な演習 (ミニワークショップ) を含みます。 ※講義のみでも実施可能です。																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン、ワークショップ時はできればホワイトボード								配布資料	有	紙						
その他	対面形式のみでの実施となります。 ※講義内容に具体的な事例の研究を含むため、関連部分の動画撮影およびネット上へのUPは出来ません。																

No. 15	色彩と建築と風景と。										対象人数	講義時間					
											5人以上 1クラス以下	50分以内					
担当教員	健康生活学部・生活デザイン学科 教授 毛利 洋子										対象者	関連する教科等					
分野	建築・都市デザイン	実施形態	講義								高校生	<input type="checkbox"/> 国語 <input checked="" type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input checked="" type="checkbox"/> 数学 <input checked="" type="checkbox"/> 理科 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input checked="" type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 工業系（建築）					
<p>・暗闇では視認できない色の違いが、明るい光のもとではわかる理由等、色とは何なのか、色がもたらす様々な効果や、色の組合せ方のコツなど、色彩の重要性をお伝えします。</p> <p>・建築の魅力を、内部空間のインテリアから建築の外観迄、古代から現代迄、歴史的背景も、力学や形の成り立ち等、数学的・造形的な側面も、自然環境との関係性にも触れながら、お伝えします。</p> <p>・街並みや風景、公園などのランドスケープ等、建築や都市のデザインと、人々のアクティビティとの関係性に着目します。その為、認知心理学や知覚特性等にも触れる場合があります。</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン								配布資料	無							
その他	<p>・色彩について、インテリアや建築について等、いずれかテーマを狭めて希望頂いても対応します。建築と職業に関する内容に触れることも可能です。お問合せ・お申込みの際に、その様にお伝えください。</p> <p>・さしつかえなければ、どんな内容に興味を持ったか、無記名でのアンケートを実施させて頂く場合があります。</p>																

No. 16	手指の器用さを向上させよう										対象人数	講義時間					
											10人～ 上限なし (調整可能)	45～90分 (調整可能)					
担当教員	健康生活学部・生活デザイン学科 講師 山中 大子										対象者	関連する教科等					
分野	被服教育	実施形態	講義+実習								高校生 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学3・4年生 教員 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>現代の子どもは、手指が不器用になっていると言われていています。本授業では、糸結びテストを通して、児童・生徒が自らの手指に意識を向けるとともに、ゆび編みなどの生活体験によって「器用さ」を向上していけることを実感することをねらいとしています。</p> <p>本授業の内容は、以下の1～4の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 糸結びテストで、手指の巧緻性（器用さ）を測定してみよう ゆび編みにチャレンジ！ (糸結びテストに再チャレンジ！) 自分の手の「器用さ」について考えよう 																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2	3		5	6	7	8		10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン、ホワイトボード または 黒板								配布資料	有	紙						
その他	<p>本授業は、JSPS 科研費 JP25K23174 の助成を受けています。</p> <p>ゆび編みなどに使用する毛糸はこちらで用意します。</p>																

No. 17	福祉ってなに？ —あなたのすぐそばにある、とても大切なもの—										対象人数	講義時間					
											5人以上 上限なし	45～90分 (調整可能)					
担当教員	健康生活学部・子ども学科 講師 荒木 正平										対象者	関連する教科等					
分野	福祉(障害、貧困、虐待等)	実施形態	講義と一部演習								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他					
<p>実はみんなの近くにあって、でもあまり深く考えたことのない「福祉」ってなんだろう。実は、障害の問題や貧困、虐待などの問題とも深く関わっているんです。</p> <p>具体的な事例をもとに、演習も交えてみんなで考えてみましょう。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン								配布資料	有	紙						
その他																	

No. 18	保育者ってどんな人？ 保育の魅力・奥深さをご紹介します！										対象人数	講義時間					
											2～40人 (調整可能)	40～90分 (調整可能)					
担当教員	健康生活学部・子ども学科 講師 島田 知和										対象者	関連する教科等					
分野	保育・幼児教育	実施形態	講義・体験								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他					
<p>保育所、幼稚園、認定こども園で働く「保育者」の仕事内容や働くために必要な資格・免許や、保育者として求められる資質についてお話しします。また「子どもの権利条約」を踏まえながら、今日における保育や幼児教育の社会的な意義についても考えていきます。</p> <p>乳幼児期の子どもは「遊び」を通して様々なことを体験的に学びます。本講義では実際に「遊び体験」を取り入れながら、保育者として働くことの楽しさや魅力、そして奥深さについて感じることを目的としています。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン								配布資料	有	電子ファイル または 紙						
その他																	

No. 19	中・高校生の心の健康										対象人数	講義時間					
											15～100人程度	50分					
担当教員	健康生活学部・子ども学科 准教授 田中 生弥子										対象者	関連する教科等					
分野	健康科学・養護学・学校保健学	実施形態	講義・グループワーク								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> <input type="checkbox"/> その他 <small>(特別活動)</small>					
<p>受講者のニーズに合わせて、以下の内容で保健教育や職業体験授業を行います。</p> <p>①思春期の心（中学校1年生） ②SOSの出し方に関する教育（中学校1年生） ③いじめを防ぎ安心できる集団になろう（中学校2年生） ④受験期のストレス対処（中学校3年生） ⑤養護教諭のおしごと（中・高校生）</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3 	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター（HDMI）、スクリーン、ホワイトボードまたは黒板								配布資料	有	紙						
その他																	

No. 20	修復的対話サークルを体験しよう —民主主義という価値を実現するための方法—										対象人数	講義時間					
											20～40人	50分					
担当教員	健康生活学部・子ども学科 教授 田淵 久美子										対象者	関連する教科等					
分野	教育学	実施形態	講義・演習								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input checked="" type="checkbox"/> 教員	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>私たちが他者とともに生きるとき、ともに問題や課題を解決していく必要が出てきます。平等で対等な人間関係をつくり、民主的な社会をつくることは、身近な取り組みからはじめられるのです。</p> <p>「修復」という理念について知るとともに、対話サークルを体験してみましょう。またそのことによって、本当に対話が成立するとはどんなことか考えてみましょう。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 	17	なし
使用機材	プロジェクター（HDMI）、スクリーン								配布資料	有	電子ファイル または 紙						
その他																	

No. 21	『さわやかな自己表現』て何？ アサーティブ・コミュニケーションを体験！ 明日からあなたも「さわやかさん」認定です。										対象人数	講義時間					
											2人以上	50分					
担当教員	看護学部・看護学科 教授 岩瀬 貴子										対象者	関連する教科等					
分野	看護学・こころの看護	実施形態	講義・演習（体験）								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>みなさんは、誰かとお話をする時に、自分の意見をどのように伝えていきますか？友人に「お願い」や、逆に「頼まれごとを断る」時、どのように伝えていきますか？ いつもどうしたらいいのかな～とかこれで良かったのかな？とか残念な結果だったり色々な思いをいませんか？</p> <p>この講義ではみなさんの日頃のコミュニケーションを振り返る時間と、困ったときの対処法について参加者のみなさんと一緒に考えます。すぐに実践できるので、明日からはあなたも「さわやかさん」の一員になれます！</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター（HDMI）、スクリーン								配布資料	有	紙						
その他																	

No. 22	私のストレングスってなに？ 自分の強みを知って輝いた毎日を過ごそう！										対象人数	講義時間					
											4人以上 80人まで	50分					
担当教員	看護学部・看護学科 教授 岩瀬 貴子										対象者	関連する教科等					
分野	看護・こころの看護	実施形態	講義・演習（体験）								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>ストレングスとは『強み』『自分自身の良さ』です。私たちはどちらかと言うと、できないところや難しいなと思うことを自覚することが多く、自分の良いところできていることに目を向けていないかもしれません。</p> <p>この講義では、自分自身もここは良いところだなと思うことや、他の人から自分の良い所を教えてもらって「意外な発見」をする機会になります。色々な自分自身のいい所を知るととっても元気になれますよ。是非体験してください！</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	机等「その他」に記載								配布資料	有	紙						
その他	グループワークを行うので、机とグループ分けについてご相談させていただきます。																

No. 23	レジリエンスってなに？ 自分のレジリエンスを知り、育てよう！										対象人数	講義時間					
											4人以上 80人程度 まで	90分					
担当教員	看護学部・看護学科 教授 岩瀬 貴子										対象者	関連する教科等					
分野	看護学・精神看護学	実施形態	講義・演習（体験）								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>現代社会は、自然災害や、経済・技術変革により、VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代と言われ、このような環境下では急速な変化や予測不能な事態が多く、ストレスが増え、人の「こころ」は疲弊しやすい状況にあります。このVUCAな時代に適応できる能力として「レジリエンス」があります。レジリエンスには、様々な状況に耐え、適応する能力や、弾力的に戻る力などがあります。</p> <p>この講座では、どのように自分自身のレジリエンスは何かを知り、どのようにレジリエンスを豊かにしていくのかをみなさんと一緒に考えます。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター（HDMI）、スクリーン								配布資料	有	紙						
その他	グループワークを行うので、机とグループ分けについてご相談させていただきます。																

No. 24	トラウマ インフォームド ケアについて知ろう！										対象人数	講義時間					
											30人程度	50～90分					
担当教員	看護学部・看護学科 講師 平山 正晃										対象者	関連する教科等					
分野	精神看護学	実施形態	講義・演習								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>TIC（トラウマ インフォームド ケア）とは、「トラウマとその影響に対する知識に基づいた関わり」を指します。日本では、2010年代に入って紹介され、現在は精神科医療の他、児童関連の施設、学校、相談機関など、様々な場に広がっています。</p> <p>この講義では、TICの基本的な考え方を知り、活用方法について一緒に考える機会にしたいと思います。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター（HDMI）、スクリーン								配布資料	有	紙						
その他	グループワークを行うので、机とグループ分けについてご相談させていただきます。																

No. 25	チームワークを学ぼう											対象人数	講義時間				
												20～60人 (調整可能)	60分 (調整可能)				
担当教員	看護学部 看護学科 ①教授 山中真弓 ②講師 草原麻紀 ③講師 藤内聖子 ④助教 近藤志保											対象者	関連する教科等				
分野	看護・管理	実施形態	演習									<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>				
<p>医療現場で働くうえでは欠かせない「チームワーク」を、ゲームを通して学びましょう。</p> <p>ゲームでは、目標に向かってメンバーで話しあい、目的のものを作り上げていきます。その過程で、自分自身のコミュニケーションの傾向やメンバーシップ、リーダーシップの傾向に気づくことができます。それらを、仲間との連携に活かせるようになりましょう。</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン							配布資料	無								
その他	5人から6人のグループワークを行い、模造紙に書いていきますので机が必要となります。																

No. 26	手をきれいに洗えていますか？ チェッカーを使った手洗いチェック											対象人数	講義時間				
												10～40人 (応相談)	60～90分				
担当教員	看護学部 看護学科 ①教授 山中真弓 ②講師 草原麻紀 ③講師 藤内聖子 ④助教 近藤志保											対象者	関連する教科等				
分野	基礎看護学	実施形態	演習									<input checked="" type="checkbox"/> 小学3・4年生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学1・2年生 <input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 保健				
<p>生活の中で「手」はさまざまな場面で使用します。そのため、目には見えていなくても、実はとても汚れていることがあります。</p> <p>そこでこの講義では、チェッカーを用いて、普段の手洗いでしっかり汚れが落せているのか、自分の手洗い方法を振り返ってみましょう。</p> <p>そして、正しい手洗いを身につけましょう！</p>																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	手洗い場							配布資料	無								
その他	手を洗いますので、手洗い場が近い場所での実施を希望します。また、チェッカーに電源が必要になります。																

No. 27	高校生の未来デザイン ACP（人生会議）で、自分と大切な人の想いを伝えよう											対象人数	講義時間				
												20人程度	60分				
担当教員	看護学部 看護学科 ①講師 中村 寿子 ②講師 岩本 節子 ③講師 平田 真子											対象者	関連する教科等				
分野	公衆衛生看護領域	実施形態	講義＋ワークショップ									<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>				
<p>高校生の時期は、進路をどうするか、どんな人間関係を築きたいか、どのように家族と向き合うかなど、“これからの選択”が少しずつ増えてくる時期であり、迷いや不安も多くなります。だからこそ、自分の価値観を整理し、大切な人と話し合いながら意思決定するACP（人生会議：Advance Care Planning）の考え方が助けになります。</p> <p>この講義では、高校生の皆さんが「これからどう生きていきたいか」「自分や家族、友だちをどう大切にしたいか」について、気軽に考えてみます。</p> <p>ACP（人生会議）という、大切な人と気持ちや想いを話し合う方法を分かりやすく紹介し、自分の気持ちを整理する力や、自分で選び取っていくための基盤づくりにつなげていきます。これを通して、日々の過ごし方や将来について考える力を育むきっかけにしていきます。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター（HDMI）、スクリーン							配布資料	有								
その他																	

No. 28	暮らしの中の応急処置・救急法											対象人数	講義時間				
												3～60人	40～90分 (調整可)				
担当教員	看護学部 看護学科 ①准教授 山口 今日子 ②講師 山田 裕美子 ③助教 錦戸 慶恵											対象者	関連する教科等				
分野	成人看護学	実施形態	演習・講義									<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 小学5・6年生	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 看護				
<p>BLS（一次救命処置：胸骨圧迫、AEDの使い方）、怪我をした際の応急処置（RICE処置、三角巾等）を講義と演習で学びます。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター（HDMI）、スクリーン							配布資料	有		(ない場合にも対応可能)						
その他	<p>事前にご要望をいただければ、「講義のみ」「演習のみ」「怪我の処置のみ」「BLSのみ」など、対応可能です。PCやプロジェクターがない形式、配布資料の有無について対応可能です。実施時間も調整可能です。</p>																

No. 29	高齢者の世界を体験しよう										対象人数	講義時間					
	加齢による変化から高齢者への優しさと尊厳を学ぶ										20～30人程度	90分					
担当教員	看護学部 看護学科 ①教授 日浦 瑞枝 ②助教 田淵 綾										対象者	関連する教科等					
分野	高齢者看護領域	実施形態	講義＋ワークショップ								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等 <input type="checkbox"/> その他 <small>進路に福祉・医療分野を考える生徒</small>	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
<p>この授業では、視界が狭くなるゴーグルや、関節が動かしにくくなるサポーター、重りベスト、手袋などの高齢者体験用の装具を身につけて、年齢を重ねると体や動きにどのような変化が起こるのかを実際に体験していただきます。見え方や聞こえ方、ものに触れたときの感じ方の変化、そして歩く・立ち上がる・細かい作業をすることの難しさを自分の身体で味わうことで、「思うように動けない」という感覚を自然に理解できるようになります。</p> <p>この体験を通して、高齢者の方が日常生活の中でどんな不安を抱えやすいのか、また、周りがゆっくり待ってくれるだけでどれほど安心できるのかに気づききっかけになります。同時に、どのような声かけや接し方が相手の尊厳を大切にすることにつながるのか、一緒に考えていきます。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3 <small>3. 質の高い教育をみんなに</small>	4	5	6	7	8	9	10	11 <small>11. 持続可能な都市とコミュニティ</small>	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン、ホワイトボードまたは黒板								配布資料	有	紙						
その他																	

No. 30	世界の看護はどう違う？										対象人数	講義時間					
	アジアの国々から学ぶ国際協力のリアル										20～30人程度	90分					
担当教員	看護学部 看護学科 教授 日浦 瑞枝										対象者	関連する教科等					
分野	国際看護領域	実施形態	講義								<input checked="" type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等 <input type="checkbox"/> その他 <small>進路に福祉・医療分野を考える生徒</small>	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small> 保健					
<p>アジアには、多様な文化や生活環境をもつ地域があり、医療事情や看護師の役割も国や地域によって大きく異なります。本講義では、講師がアジアの国々で行ってきた看護教育や人材育成の経験をもとに、国際協力の現場で見えてきた「世界の看護の違い」を紹介します。</p> <p>また、看護師は病院だけでなく、地域保健、教育、災害支援、多文化医療など、さまざまな場で広がる役割にも目を向けます。外国人住民が増える日本でも、文化や価値観の違いを理解しながら対応する力が求められており、国際的な視点をもつことは、これからの保健医療にとってますます重要になっています。</p>																	
関連のあるSDGs目標																	
1	2	3 <small>3. 質の高い教育をみんなに</small>	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	手洗い場								配布資料	無							
その他																	

No. 31	性感染症について 正しい知識をもって自分の身体を守ろう！										対象人数	講義時間					
											5人以上	50分					
担当教員	看護学部 看護学科 教授 原田 美智										対象者	関連する教科等					
分野	看護学	実施形態	講義								高校生 教員	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input type="checkbox"/> 家庭 <input type="checkbox"/> 総合的な探究 <input checked="" type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
近年、梅毒をはじめ性感染症が若年層で増加傾向にあり、性感染症の拡大が懸念されています。 この講義では、性感染症の予防や適切な対応についてお話をしていきます。																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン								配布資料	無							
その他	コンドーム装着方法を含む性感染症の教育 DVD を使用してよいか、ご相談させていただきます。																

No. 32	子どもの健康とヘルスリテラシー 成長期のカラダとココロを守るために										対象人数	講義時間					
											30人	60分					
担当教員	看護学部 看護学科 ①教授 佐東 美緒 ②講師 畠 知華子										対象者	関連する教科等					
分野	小児看護学	実施形態	講義＋ワークショップ								高校生 中学生 小学5・6年生 小学3・4年生 保護者等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 地理・歴史 <input type="checkbox"/> 公民 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 芸術 <input type="checkbox"/> 外国語 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な探究 <input type="checkbox"/> 進路選択・キャリア <input type="checkbox"/> 商業系 <input type="checkbox"/> 工業系 <input type="checkbox"/> その他 <small>(説明等)</small>					
健康とは、「身体や心の調子が良い状態」です。ヘルスリテラシーとは、健康や医療の情報を手にいれ、理解、評価して適切に意思決定できる力です。子どもが生きている社会は、健康について色々な情報があります。情報の中には、間違っていること、本当は、健康のために良くないことがあります。本当に健康に良いことを行っていくためには、情報を使っていく力が必要です。自分たちで、今の生活を変えていく力、生きているなと感じる力をつけていきましょう。 この講義では、科学的なデータをもとにネット依存などを通して、子どもの健康とヘルスリテラシーについて体験型ワークを通して学びます。																	
関連のある SDGs 目標																	
1	2			5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	なし
使用機材	プロジェクター (HDMI)、スクリーン								配布資料	有							
その他																	



活水女子大学 入試課

〒850-8515 長崎市東山手町 1-50

Mail : nyushi@kwassui.ac.jp

TEL/FAX : 095-820-6015

